

集団生活

人間は誰しもどこかの「集団」で暮らしています。家族、塾など。学校もそうで、みんな「野村」という集団の1人です。集団には、ルールや役割があって、誰かに迷惑をかけてしまう事もあります。だから僕は「集団」という言葉に良いイメージを持っていませんでした。1人の方が楽だと。僕は「集団」で過ごす意味が分かりませんでした。それについて何となく分かったのは、僕が高校生になって、地元の祭りに青年団として参加するようになった頃からでした。

ちょうどこの9月から、町は一気に祭りムードに変わり、青年団は毎日、走り込み、鳴物練習、寄合などの祭りに向けた準備を行い、当日を迎えます。もちろん当日も大変なことだらけで、体力的にも精神的にも限界まで追い込まれます。でもそんな事を毎年乗り越えている、この「町」という集団はとても強いと思いました。

なぜこんなにも強いのか、僕は町の人たちと話をする中である事に気づきました。それは全員が同じ目標を持っていました。その目標は「綺麗な勢いのあるやり回しをする。」という事でした。これのために全員が団結し、過酷な事も乗り越えているのだと思いました。

僕は祭りを通して「集団」では目的や目標が一致することの大切さを知りました。みんなの気持ちが1つになればどんな過酷な事も乗り越えられて、自分でも考えられないほどのパワーと元気が出てくるんです。「集団」で過ごす意味はそういう所にあるのかなと思いました。

これから2学期が始まり、日々の授業やテストに部活動、また体育大会に合唱コンや受験もあり、忙しくなっていきます。でもそんな時こそ、みんなで気持ちを合わせれば、乗り越えられて、行事などはとても素晴らしいものになる気がします。

野村中の生徒や先生は、たまたま何かの縁があり、こうして集まったメンバーです。どうせならみんなで気持ちを1つにして頑張っていきませんか？僕は全員が気持ちを一つにできたらすごい学校になるんじゃないかと思います。

--

年 組 番 名前